

(様式2)

支 部 事 業 報 告 (砺波・南砺・小矢部支部合同)	開催日	2021年7月31日(土)
	時間	9:30～11:30
	場 所	砺波市出町子供歌舞伎曳山会館
研修会名	令和3年度 第1回富山県看護連盟 支部合同研修会	
参加対象者・参加	会員 非会員 その他() / 参加者 60名 非会員()名	
事業(研修)目的	富山県看護連盟の活動の現状を理解する	
研修会 テーマ	富山県の看護連盟の活動について理解を深める	
主 催	富山県看護連盟砺波・南砺・小矢部支部	
研修方法	講演(○) 解説・説明() グループワーク() 他()	

【内 容】

新型コロナウイルス感染症は第5波にあり患者数が県西部に急増している中での開催であったため、非接触型体温計での測定と健康観察、会場のソーシャルディスタンスを保ち感染対策を徹底した。



講演1 「富山県看護連盟の活動について」



講師 富山県看護連盟会長 大井きよみ
看護連盟の設立の経緯と看護協会との違いについて分かりやすく説明された。看護連盟の役割とは、現場で働く看護職の声を聴き、政策に組み込み、働きやすい環境調整を担っていることであると明確に届けられた。直近では、看護職の現場の声を富山県看護連盟の要望として届けたことで、新型コロナウイルス対応職員への危険手当の支給に繋がっている。看護の未来をつくる為、現在看護職から4人の議員が国政に関与している。今後も現場の声を正解に届けるためには、看護職各個人が意識を持ち、看護団体という組織全体で看護連盟の会員数を拡大する必要があると伝えられた。

講演2 「ストレスとリラクセーション」



講師 公立学校共済組合北陸中央病院 臨床心理士 富田さなえ氏
コロナ禍における看護職の抱えるストレスに焦点を当て、個人によって受け止め方が違うが、ストレスを感じることは当然なことであり、自身のストレスに気づき早めに対処することが大切である。コロナ禍の現場で対応する看護職がストレス対処法として実践できるリラクセーション法のうち、漸進的筋弛緩法と自律訓練法を実際に体感した。

自律訓練法で身体の中から
じんわり温かくなる
心地よさを体感中！



まとめ :

今回の研修開催に際し、新型コロナウイルス感染予防対策を引きつづき徹底した。会場入り口での健康チェック、ソーシャルディスタンスを保ち人数制限を行って開催した。昨年と同会場でも感染対策をとったことにより、会場準備から研修会運営まで一連の流れがスムーズに行われた。

講演1では、看護連盟会長より看護政策の実現のためには政治の力が必要であり、そのためには現場看護職が政治に対する理解を得ることが必須であるというメッセージが参加者に届けられた。

研修会の振り返りの中で、現場の声を届ける一案として地域の議員に講演を依頼し、地域行政とのつながりをつくることも検討の余地があるという意見があった。看護職の働く現場の意見を吸い上げ、パネルディスカッション形式での開催という具体的な提案があった。

以上の内容を今後の支部活動に活かしていきたい。